

健康卓球を始めませんか

3月16日「西脇市卓球フェスタ」健康卓球を開催

日本では今、張本智和選手や石川佳純選手、伊藤美誠選手といった日本人卓球選手の活躍もあり、卓球は注目を浴びているスポーツです。西脇市は東京2020オリンピック・パラリンピックで、オーストラリア卓球チームのホストタウンに決まっております。今年の夏にオーストラリア卓球チームが本市で事前合宿を行います。

この機会に本市では、「いつでも」「誰でも」「気軽に」楽しめる卓球を「生涯スポーツ」の一つとして推進しております。健康の維持や増進のために、市民の皆さんに始めてもらえるよう、さまざまな取り組みを行っています。

◆内容
◇第一部(午後1時〜2時30分)
・講演「健康卓球で日本を元気に」
世代を問わず楽しめる卓球を通じて健康寿命の延伸について、実技を交えながらお話いただきます。
◇第二部(午後2時40分〜4時)
・体験イベント「みんなであそぶ」

「健康卓球」を体験！
ねらって当てよう！またあてピンポン
・チャレンジ卓球！現役選手と卓球ラリー
学生卓球部の王者・明治大学卓球部の渡辺裕介選手Ⅱ同中央と、宇田幸矢選手(丁O Cエリートアカデミー)Ⅱ同下が来西し、妙技を披露します。

◆定員 200名(先着順)
◆その他
・参加無料
・参加者に記念品を進呈
◆問合せ
生涯学習課スポーツ振興室
(総合市民センター内/ ☎22-5996)

この機会に本市では、「いつでも」「誰でも」「気軽に」楽しめる卓球を「生涯スポーツ」の一つとして推進しております。健康の維持や増進のために、市民の皆さんに始めてもらえるよう、さまざまな取り組みを行っています。

◆とく
3月16日(土) 午後1時〜4時
西が丘複合施設みらいえ 多目的ホール

講師プロフィール

一般社団法人卓球で日本を元気にする会 代表 児玉圭司さん



昭和31年に世界卓球選手権ベスト16に。引退後、昭和40年から52年まで世界卓球選手権大会の日本代表選手団監督を務めた。昭和38年から平成3年まで公益財団法人日本卓球協会理事・強化委員長を、平成11年から19年まで関東学生卓球連盟会長を歴任。現在は明治大学体育会卓球部監督・総監督や日本学生卓球連盟会長を務める。

渡辺裕介選手

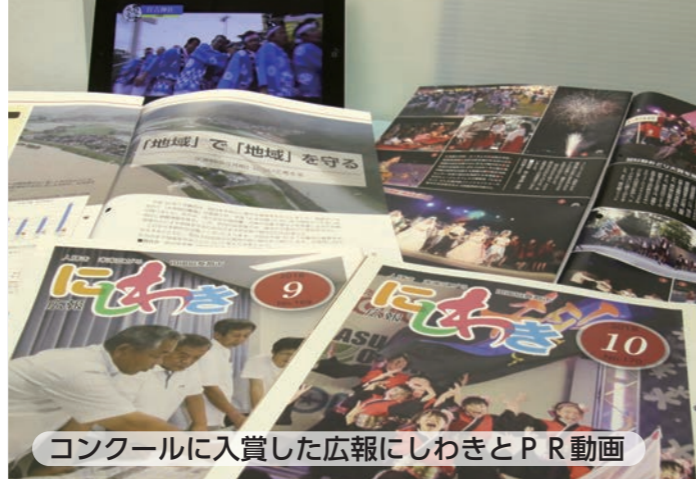


明治大学卓球部主将。平成30年度秋季大学リーグ戦で優勝し、殊勲賞を受賞。同年の全日本選手権大会男子シングルスベスト8。

宇田幸矢選手



平成30年度世界ジュニア選手権大会男子シングルス準優勝。同年全日本選手権大会ジュニア男子準優勝に輝く。



兵庫県広報コンクール審査結果

広報にしわき9月号が広報紙部門で入選

平成30年9月号=写真では、平成30年7月豪雨時の地域の取り組みを記録した特集「『地域』で『地域』を守る」を掲載。台風シーズンに合わせて、災害などに備える自治会の先駆的な取り組みを紹介しました。



入賞は8年連続で、9月号は公益財団法人兵庫県市町村振興協会の「広報まちづくり賞」も受賞しました。今後も市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに努めてまいります。

◆問合せ 秘書広報課(市役所内線207)

広報にしわき10月号が組み写真の部で入賞

平成30年10月号=写真では、「第13回へのその西脇・織物まつり」を組み写真で掲載。祭りの魅力を伝えるために、2ページにわたってさまざまな場面を紹介しました。



◆問合せ 秘書広報課(市役所内線207)

市制作のPR動画が映像の部で入選

市制作のPR動画「勇壮！西脇市秋祭2018」=写真では、昨年10月に市内各地で行われた秋祭りの様子を収録。ドローン(小型無人航空機)で撮影した映像を交えながら、個性豊かな市内各地の祭りを紹介しています。右のQRコードからご覧ください。



◆問合せ 次世代創生課(市役所内線564)

新庁舎 井戸端会議

西脇市まちなか(中心市街地)活性化計画を策定

西脇市では、まちなか(下戸田)での新庁舎・市民交流施設の整備を契機として、まちなかの暮らしやすさにぎわいづくりに向けた方向性を示す「西脇市まちなか(中心市街地)活性化計画」を策定しました。策定に当たっては、平成29年度から市民アンケートや市民ワークショップなどを実施し、多くの市民の皆さんにご協力をいただきました。

計画では、まちなかの目指す将来像を「まんなかから、つながるまち」としています。将来像の実現に向けて、市民や事業者、行政などがそれぞれの役割を果たしながら、協働で取り組みを進めていく必要があります。

市は計画の具体化に向けて、市民活動などのソフト面を支援する「中間支援組織」の立ち上げを検討するとともに、新庁舎等整備や新庁舎周辺道路整備などのハード整備を着実に進めます。



▲まちなかで開催された播州織の生地マルシェ「播州織産地博覧会」(昨年5月27日)

◆「まんなかから、つながるまち」の実現に向けて(市が検討中の平成31年度以降の主な取り組み)

- ①計画の具体化に向け、市民が主体となって必要な取り組みを検討する場の立ち上げを支援します。
- ②市民活動やコミュニティビジネスなどの展開を支援する中間支援組織を立ち上げ、まちなかに支援業務の拠点を設置します。
- ③新庁舎・市民交流施設の建設に着手します。また、新庁舎周辺道路の段階的な整備を進めます。
- ④新庁舎等の整備に合わせて、公共交通の利便性向上に向けた取り組みを進めます。

◆問合せ 新庁舎建設室(市役所内線365)